

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年12月24日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300240
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	グループホーム なでしこ
所在地	鹿児島県始良市東餅田428番地1 (電話) 0995-67-7230
自己評価作成日	令和3年10月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年11月10日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・母体である医療機関が隣接しており24時間医療連携体制が整い、日常的な健康管理から重度化や終末期対応に至るまでのトータルケアができ利用者様ご家族様の安心に繋がっている。
- ・広い庭園は季節の花々、木々が植えられ、日常的な散歩コースになっており、五感を刺激し気分をリフレッシュしている。
- ・毎月の会議は全職員で意見交換や情報の共有を行い、モニタリング、介護計画の検討をし、利用者様の意向に添った支援が柔軟に出来る様に心掛けている。

- ・当事業所は母体医療機関に隣接して建てられており、母体医療機関と緊急時や24時間医療連携体制が整っている。月2回の受診や毎日看護師による健康チェックを行い、本人・家族が安心して過ごせる環境である。
- ・コロナ禍の為、地域行事への参加やボランティア受け入れ等は自粛しており地域との交流は困難な状況である。外出も制限されているが、広い庭を毎日散歩して花を眺めて季節を感じたり、ストレス解消と気分転換を図っている。
- ・家族との面会はコロナの感染状況等を見ながら、感染症対策の上で窓越し面会や対面面会等を実施し、本人及び家族の精神面の安定を図るように努めている。事業所から毎月「なでしこ便り」を送付したり、電話で近況を報告し相互の繋がりを大切に取り組んでいる。
- ・職員間のコミュニケーションが良く、職員の積極的な発言で情報共有やケアの統一等が図られ、職員に応じた就業形態の配慮等、離職を防ぎ人材の確保に資する取り組みがされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を玄関やスタッフルームに掲示し、ケア会議時は理念に添った支援になっているか理念の確認とケアの振り返りを行っている。	理念は玄関等の事業所内に掲示している。毎月ケア会議時に唱和し、理念の確認を行うと共にケアの振り返りを行い、理念に沿った実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域・ボランティアとの交流・地区の運動会・法人の秋祭りも中止となり時節柄厳しいものがあり日常的な交流が出来ていないのが現実である。	コロナ禍の為、自治会や法人の行事が自粛されている中、事業所でもボランティア受け入れ等を控えており、地域住民との交流は困難な状況である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	介護について困って居られる地域の方が電話相談、ホーム見学や相談に来られた際には支援等の相談にのっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ感染防止の為、運営推進会議は紙面開催とし、運営推進会議メンバーに意見を頂き、議事録を家族・行政・運営推進会議メンバーに郵送し事業所の状況を伝えている。</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議は書面開催となっている。現在は、ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告と電話や来訪時に得た委員の意見等をまとめた資料を送付している。コロナ感染者数の減少を受けて対面での開催を検討している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市担当者とは窓口に出向き相談や報告を行い連携を図っている。</p>	<p>市の担当者とは、日頃からこまめに窓口に出向いて事故報告や相談を行う等、連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月一回身体拘束チェックを行い、自らの行動を振り返りながら身体拘束をしないケアに取り組んでいる。利用者様の心理的負担とならないように職員はスピーチロックについても気をつけている。</p>	<p>指針があり、委員会は毎月開催し、研修会は年2回実施している。スピーチロックは、その場で管理者から注意を促している。日中玄関の施錠はせず、帰宅願望等の本人の気持ちを察知した時はすぐ対応し落ち着いてもらうまで対応し、自宅付近へドライブすることもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会を通して利用者様に対しての言葉遣いやスピーチロック、対応の仕方でも虐待に繋がる可能性があることを常に意識し日々の介護で自らの介護を振り返り防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会を通して日常生活自立支援事業や成年後見制度について学んでいる。現在活用されている利用者様は居られないが、今後必要と判断される方が居られたら関係機関と連携を図り、円滑に行えるように支援する。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前にホームを見学して頂き入居契約の際は、十分な説明を行いその内容に対する理解と納得を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様には日頃の会話の中で要望を聞いている。ご家族様には来訪時や電話で要望を聞きその内容を記録し、職員間で共有しながら可能な限りケアや運営に反映させている。	本人には、日頃の関わりの中で要望等を聞いて対応している。家族には、電話や来訪時に要望等を聞いている。対面での面会希望が多いことを受けて、コロナ感染状況を見ながら、ワクチン接種済みの家族には感染予防対策を行い、居室で短時間の面会を受け入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は職員が意見や提案を言い易い雰囲気心がけ、職員の意見を取り入れ試行している。働き方も職員の希望に沿った勤務体制にしている。</p>	<p>日常的に職員は意見等を出して、それを管理者が会議時に諮り、試行に繋げている。職員の休憩時間確保についての意見では、長めの昼食時間やお茶の時間で確保できるよう工夫し、働きやすい環境作りに反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得に向けた講習会等に参加できるように勤務体制を考慮している。資格手当等もあり向上心を持って働く事が出来るように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の現状を把握し、研修参加や資格取得を奨励し、向上心を持って働けるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同法人グループとは電話や会って情報交換や勉強会を行っているが、他事業所間の交流は薄い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に利用者様と面会し、不安な事や要望をお聞きしており、グループホーム入居時は安心して生活が送られるように、寄り添う時間を多く持ち関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	グループホーム見学から入居に至るまでに現状、要望を十分に傾聴しご家族様の思いや気持ち、これまでのご苦勞を受け止め、早期に信頼関係が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面接で「今、一番必要な支援は何か？」を出来る限り把握し、インフォーマルな支援も含めた支援を検討し、サービスが支障なく開始出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様のADLに照らし茶碗洗い、洗濯物干し、畳み、食材の下ごしらえ等出来る事をして頂き、自立へ向けた支援をしている。毎日の家事援助は、利用者様と共に行い職員は利用者様から学ぶものも多い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後もご家族様との絆が途絶えぬよう介護サービス計画書の中で家族に担って頂ける役割を位置づけている。他科受診等はご家族様の協力を得ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の為、従来の様に気軽に馴染みの場所や一時帰宅の継続も難しいが収束の際は以前の様に、これまでの関係性の継続に取り組みたい。	コロナ禍の為、外出や家族との交流が自粛されているが、家族との窓越し面会や電話での交流・事業所からの「なでしこ便り」で近況を報告し家族との関係を大切にしている。家族との対面面会により、本人・家族の精神面の安定が期待される。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士で会話を楽しんでおられる。介助が必要な方には元気な利用者様が手を摩ったり話かけ、体調が優れない方が居られると部屋に見舞いに行き励まされ共に支え合っている様子が見られる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなられた時は、ご家族様が落ち着いた頃に、電話をかけ利用者様の思い出を語り偲んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話、声かけ、表情から暮らし方の意向や把握に努めご家族様の意向も含め利用者様本位の支援に取り組んでいる。職員の勤務体制にゆとりを持たせ利用者様に向き合える時間を作っている。	普段の会話や入浴時等の個別ケア時に、本人の思いを把握できるように努めている。困難な場合は、家族とも話し合い、関わりの中から本人の思いを推測し対応を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様に協力を得、入居前の暮らし方、生活歴、サービス利用等お聞きしアセスメントに活かしている。また、施設を利用されていた方は利用施設から情報を取得しこれまでの暮らしの把握に努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の生活リズム・心身の状態「できる力・わかる力」の現状把握に努め、個別に記録し申し送り等で共有を図り、本人のペースで生活できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様やご家族様の意見・要望・主治医の意見を聞き介護計画を作成している。個々の短期目標を表示し、職員はプランを確認して統一したケアの実践に努め毎日リーダーが評価し次のプラン作成へと繋げている。状態変化時は随時見直しを行っている。	本人・家族の希望等を基にケア会議で検討し介護計画を作成している。モニタリングは、毎日リーダーが評価し、月末にまとめている。モニタリング結果での修正及び状況変化時に見直し、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のプランを基に個別記録を記入し申し送りで情報を共有したりプラン見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズの対応が難しい面もある。コロナ禍で、外出の機会が損なわれ一時帰宅も出来ず、また外部との触れ合いも少ない。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ感染予防の為、外部の方を招いての行事等は自粛しているがホーム内でのレクリエーション等で楽しく過ごせるよう支援している。図書館からの本の貸し出しサービスを受けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診・体調不良時に医療機関を受診した場合は、受診結果を家族に報告し共有を図っている。夜間帯も病院との連携がとれ、看護師がすぐ訪問できる状況である。	契約時に本人・家族の希望を確認し、全員が母体の医療機関をかかりつけ医としている。月2回職員同行の受診や看護師の毎日来訪があり、24時間の連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。他科受診は初診時のみ家族の協力を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日隣接病院の看護師訪問がある。気付いた変化や情報は報告相談し、適切な受診や看護を受けられるように支援している。夜間帯も病院との連携がとれ看護師の訪問がすぐできている状況である。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は面会をして安心して治療ができるように、病院と情報交換をしている。二週間ホームを空けて再入居できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化や終末期に向けた指針についての説明を行っている。容態変化に応じて、ご家族様、主治医と話し合いを重ねながら、その人らしい終末期を迎えられるよう支援をしている。看取りの経験も多数ある。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針で説明し、同意書を得られている。状況変化時に家族の意向を確認し、意向に沿って支援に取り組んでおり、看取り介護の実績がある。母体医療機関との連携・協力体制がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>医師・看護師の指導を受け応急手当や初期対応の仕方を学び、実践力を身につけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>同敷地内の病院と連携がとれ避難場所の確保もしている。自家発電、備品も備えている。</p>	<p>年2回の避難訓練を夜間想定で実施している。コロナ禍の為、消防署の立ち会いはなく自主訓練を行っており、母体医療機関との協力体制があり、災害時の避難場所は、母体医療機関である。備蓄は、水や米・かゆ・缶詰・ゼリー等の食料や自家発電機・カセットコンロも準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の思いを大切にしプライバシー保護に配慮している。利用者様に寄り添い、トイレ誘導や声掛け時は大きな声でしないようにしている。	研修を実施し、利用者に不快な思いをさせないケアに努めている。入室時や個別ケア時の声掛けを確実に実施し、入浴の同性介助対応や排泄介助時の声掛けは羞恥心に配慮して行っている。申し送りは小声で名前を出さないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様とコミュニケーションを取る中で、表情などを感じ取り、出来る限り自己決定ができるような問いかけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のその日の状態に合わせて臨機応変に対応出来る様に心がけ、利用者様主体のペースに添った生活が送れるように考え支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容をコロナ感染予防対策で中止している。利用者様、ご家族様の意向を聞き職員がカットをしている。服は食べこぼし等で汚れていないか気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	病院の管理栄養士によるバランスの取れた献立である。食べたい物、行事食等リクエストを取り入れてもらい利用者様の楽しみに繋げている。茶碗洗い、食事の下ごしらえお盆拭き等出来る事は一緒に手伝ってもらい食事を楽しんでいる。	栄養士の献立に利用者の好みを入れて調理し、個々に応じた食事形態で提供している。利用者も一緒に準備や片付け、保存食作りをしている。誕生会の好物や行事食、庭で花見弁当、テラスでのお茶等、楽しみを工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事量、水分量をチェックし、食事量が少ない時は栄養補助食品を提供している。病院の管理栄養士による献立で栄養バランスがとれている。嚥下機能に合わせ刻み食、ミキサー食、トロミ剤を使用し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは職員と一緒にやっている。出来る方は自立支援を行い、利用者様の力に応じたスポンジブラシ等使い分け磨き残しは介助している。口腔状態も確認している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のリズムを把握し、サインを見落とさないように努めトイレでの排泄自立に向けた支援をしている。	チェック表で個々の排泄パターンを把握している。排泄パターンや本人の仕草等で声掛け誘導し、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。夜間だけでなく日中も、ポータブルトイレやオムツを使用し、本人の負担を少なくしている場合もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給はお茶やお茶ゼリー・乳製品等好みの飲み物で摂取できるようにしている。室内歩行・下肢運動を日課として位置づけ、運動を取り入れ自然排便ができるように支援している。必要に応じて医師の指示のもと緩下剤を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の予定はあらかじめ決めているが、その日の体調により柔軟に対応し、必要に応じ2名介助で実施している。また、同性介助を希望される方の意思も尊重している。浴槽にゆっくり入って頂きリラックスできる時間になるように支援している。	週2～3回午前中に実施し、体調によって清拭の実施や翌日への変更等、柔軟に対応している。ゆっくり安心して浴槽に入ってもらえるよう必要に応じて2人介助や同性介助をしたり、汚染時のシャワー浴等、気持ち良く過ごせるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	肌で感じる外気浴・散歩等、適度な運動を心がけ生活のリズムを整えている。休息や就寝時間は利用者様の生活習慣、その日の体調を尊重している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬処方ファイルを作成し処方箋を確認しながら誤薬にならないようにしている。副作用についても職員は理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>散歩、野菜・花作り、レクリエーション、脳トレ、縫い物などの趣味を取り入れ、張り合いや楽しみのある生活が送れるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍の中外出機会はなくなりましたが、自然に恵まれた広い庭園があり気候、天気、体調を考慮しながら散歩を実施している。個別にドライブも行っている。今後の感染状況を見ながら従来のように個別の外出支援をしていきたい。</p>	<p>コロナ禍の為、外出の機会が少なく、広い園庭で外気浴を行い、花を眺めて季節を感じている。外出は花見のドライブや希望で墓参りに出かけている。帰宅願望の強い利用者にはドライブで自宅周辺に出かけて気分転換を図っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ホームでお金を預かり、必要に応じて使用できるようにしている。毎月出納表に領収書を添付しご家族に送付している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じ電話をかけたり、ご家族様からの電話取次ぎがスムーズに出来ている。また、携帯電話を利用しビデオ通話が出来るように職員が支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは日当たりが良く、明るい環境である。毎月季節感のある壁面や飾りつけを変え季節感を感じて頂けるようにしている。リビングに空気洗浄機を置き換気・消毒も定期的に行い自由に気持ちよく過ごせる様になっている。</p>	<p>明るいリビングは高窓を開けたり、空気清浄機で換気に努め、温・湿度等の室内環境も過ごしやすいよう適度に調整している。室内の作品や飾り付けで季節を感じてもらえるよう工夫し、利用者はそれ自由にくつろげるようにしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者様同士でお茶を飲んだりテラスで外気浴をしながらゆっくり過ごせるようにしている。それぞれの居場所の工夫もしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>プライバシーを大切にしながら、落ち着いて過ごして頂けるよう馴染みの品々や写真を飾り利用者様にあわせた居室作りを心がけている。</p>	<p>居室には電動ベッドやダンス・ドレッサーが備えてあり、寝具はリースである。本人の使い慣れた物を必要に応じて、テレビや毛布・写真・ぬいぐるみ等の身の回りの品々を持ち込み、本人が安心して過ごせる部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>要所要所に手すりがあり、室内はバリアフリーである。廊下・ホール等動線上障害物を無くし安全に歩行がや車椅子自走ができるようにしている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない